

第13回バイオ関連化学シンポジウム プログラム

3日目 9月6日(金)

	A会場 工学部中央棟 2F 大講義室	B会場 工学部マテリアル理工講義棟 1F 第1講義室	C会場 工学部マテリアル理工講義棟 2F 第3講義室
9:10-10:30	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：高岡 洋輔 (東北大院理)		フォーカスセッション：最先端合成化学を駆使したバイオ関連化学最前線 座長：上田 実 (東北大院理)
9:10-10:30	3A-35 有機金属化学を用いた高効率タンパク質化学合成 ○林 剛介・加茂 直己・岡本 晃充 (名大院工・東大院工・東大先端研)		3C-35 (依頼講演) 多成分反応を基軸とした天然物創薬化学 ○市川 聡 (北海道大学大学院薬学研究院)
9:30-9:50	3A-36 ユビキチン化ヒストンH3の化学合成とその効果 ○川上 徹・三島 優一・高澤 雅也・北條 裕信・末武 勲 (大阪大蛋白研・甲子園大栄養)		3C-36 (依頼講演) 細胞内の標的タンパク質の寿命を短縮する低分子 ○石川 稔 (東北大院生命)
9:50-10:10	3A-37 化学的骨格変換反応による主鎖修飾ペプチドの翻訳合成 ○後藤 佑樹・黒田 知宏・堤見 遥・加藤 保治・菅 裕明 (東大院理)		3C-37 (依頼講演) One-bead-one-compoundライブラリー戦略を基盤とした抗菌ペプチド天然物ライソシンEの新規類似体創出 ○伊藤寛晃・徳本皓太郎・加治拓哉・井上将行 (東大院薬)
10:10-10:30	3A-38 反応速度論に基づいたDNA 配列選択的なモジュール型アダプターの設計 ○中田 栄司・張 正宵・Nguyen Minh Thang・オ村 正幸・松田 一成・森井 孝 (京都大学 エネルギー理工学研究所)		3C-38 (依頼講演) グアニン四重鎖を選択的に認識する大環状ヘキサオキサゾール化合物の創製 ○馬 悦 (東京農工大院工)
10:30-12:30	ポスター発表 3P-001~3P-082 (奇数番号 10:30~11:30 偶数番号 11:30~12:30)		
12:30-13:30	昼食		
13:30-17:10	第13回バイオ関連化学シンポジウム特別講演：市民公開講座 (会場：工学部中央棟 2F 大会議室) 生活そして人生を豊かにし、社会に貢献するバイオ関連化学最前線講演会 The Forefront of Biorelated Chemistry for Life Innovation and Affluent Society Contribution		
13:30-13:40	「趣旨説明」 東北大多元研 和田健彦		
13:40-14:40	特別講演 1 「基礎研究から医療現場に届いたポリマーバイオマテリアルの開発」 東大院工 石原 一彦 教授		
14:40-14:50	休憩		
14:50-15:50	特別講演 2 「異端は認められた瞬間に先端になる - 特殊ペプチド創薬イノベーション、創薬の革命 -」 東大院理 菅 裕明 教授		
15:50-16:00	休憩		
16:00-17:00	特別講演 3 「COI東北拠点の取り組み：健康幸福社会を実現するデータ・インテグレーション」 東北大 イノベーション戦略推進センター 末永 智一 教授		
17:00-17:10	「総括」 東北大院工 珠玖 仁		